東習志野図書館
新習志野図書館
藤崎図書館
谷津図書館

よつば通信 NO.21

発行日
平成27年 10月1日
http://libyotsuba.blog.fc2.com/
よつば通信ブログ版へ↑

今日は何の日

３６５日全ての日が「〇〇の日」と名付けられていることをご存じでしたか？国民の祝日はもちろん、そのほかにもあまり知られていないような記念日がたくさん設定されています。そんな記念日とその日にちなんだ本を紹介します。

１０月２７日 テディベアの日

アメリカの２６代大統領セオドア・ルーズベルトが、狩りで小熊にとどめの一発を撃つのを拒絶したエピソードに由来。１０月２７日は彼の誕生日に当たり、「セオドア」の愛称「テッド」から「テディベア」と名付けられました。

📖関連本

『はじめてでもちゃんと作れるテディベア』
みやた　きのこ／著　グラフ社
お裁縫が初めてでも、いろいろなテディベアを作れる解説つき。

１１月１７日 将棋の日

江戸幕府８代将軍徳川吉宗が、この日を「御城将棋の日」とし、年に１回の御前対局を制度化しました。これを記念日として日本将棋連盟が１９７５（昭和５０）年に制定しました。

📖関連本

『みんなの将棋入門』
羽生　善治／監修　主婦の友社
駒の動かし方から実際の指し方まで、イラストでわかりやすく解説。

講座のお知らせ

習志野市立図書館主催　児童向け講座

石津ちひろ　講演会
絵本のたのしみ　ことばのたのしみ

平成 27 年 10 月 10 日（土）
14 時～15 時 15 分
会場：習志野市民会館

対象：小学３年生以上
定員：300 名
参加費：無料
申込み：市内図書館カウンターにて
チケット配布中（電話申込不可）
問合せ：新習志野図書館
047－453－3399

サイン会
１５時３０分～１６時３０分
当日書籍を購入した方を対象に
サイン会を行います。（先着５０名）

● 各図書館 インフォメーション ●

谷津図書館

習志野市谷津５丁目 16 番 33 号
Tel. 047-471-2072

「博士と学ぼう！恐竜のひみつ」を開催しました！

９月６日、当日は８０名を超える参加者を前に、真鍋　真博士が恐竜の歴史や新種の恐竜の紹介などを解説されました。将来の恐竜博士の誕生が待ち遠しいですね♪

新習志野図書館

習志野市秋津３丁目６番３号
Tel. 047-453-3399

学習室

習志野市では新習志野図書館にのみ学習室があります。図書館内では図書館の資料を使った学習しかできませんが、学習室では持込みの学習ができます。また、新聞も学習室に置いています。
席が空いていればどなたでも自由に使うことが出来ますので、ぜひご利用ください！

東習志野図書館

習志野市東習志野3丁目1番20号
Tel. 047-473-2011

「年賀状の書き方教室」開催します

１１月１４日（土）
９時３０分～１１時３０分

会場：東習志野コミュニティセンター
３階　講義室Ｂ
定員：１５名（１８歳以上の方）
申込み：１０月２９日（木）午前９時より
カウンターにて受付

※写真は昨年の様子

藤崎図書館

習志野市藤崎６丁目 20 番 11 号
Tel. 047-475-3330

下総三山の七年祭り

藤崎図書館４階郷土資料コーナーでは、現在七年祭りの展示を行っています。是非ご覧ください。
これを機に、地元のお祭りにもっと親しんでみませんか？

地域の方よりお借りした法被も展示中！
展示期間：
１１月１日（日）まで

次号は12月1日発行

夜空をみあげよう！

涼しくなり、日が暮れるのが早くなっていくこの季節。
秋の夜長にゆっくりと夜空を観察してみませんか？

星をみる

『プラネタリウム解説者に教わるよくわかる星空案内』
木村　直人／著　誠文堂新光社

『星座の見つけ方と神話がわかる星空図鑑』
永田　美絵／著　八板　康麿／写真　成美堂出版

『星空がもっと好きになる』
駒井　仁南子／著　誠文堂新光社

『星の王子さまの天文ノート』
縣　秀彦／監修　河出書房新社

サン＝テグジュペリの名著「星の王子さま」の世界を通して、好きな星がきっと１つ見つかる、初心者のためのやさしい天文入門書。

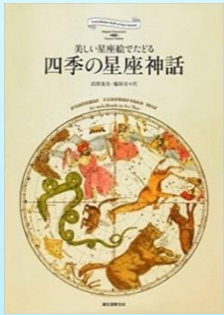
宇宙をしる

『超・絶景宇宙写真』
寺門　和夫／著　パイインターナショナル

『宇宙について知りたい６８項目』
ニュートンプレス

『天文学の図鑑』
池田　圭一／著　技術評論社

『四季の星座神話』
沼澤　茂美／著　脇屋　奈々代／著
誠文堂新光社



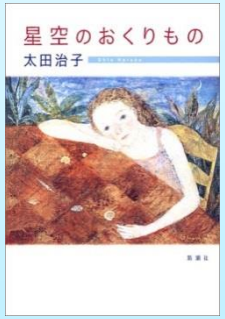
春夏秋冬の星座神話を美しい星座絵で紹介。星座神話マップやギリシャ神話の神々の系譜も掲載。

小説

『星を継ぐもの』
ジェイムズ・P・ホーガン／著　東京創元社

『星空放送局』
中村　航／作　宮尾　和孝／絵　小学館

『星空のおくりもの』
太田　治子／著　新潮社



もしかしたら、もうひとつの人生を生き直すことができるかもしれない。そんな想いを抱かせる、やさしい１２の物語。